

令和 4 年度第 1 回岡崎市放課後児童クラブ支援員研修会レポート

- 【日時】 2022 年（ 6 ）月（ 9 ）日（ 木 ）10 時～11 時 45 分
【会場】 岡崎市役所福祉会館 6 階大ホール
【内容】 放課後児童クラブにおけるアレルギー対策のポイントとエピペン実習
【講師】 中西里映子さん（NPO 法人アレルギー支援ネットワーク）

【クラブ】（ なかよしクラブ ）

【名 前】（ 吉川美里 ）

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

アレルギー対応の研修を何度か受講したことはありますが、今回の資料は 2021 年改訂版という最新版になっていました。学童保育と一緒に、日々状況は変化をし、情報や対応も変化（進化）していくものと思っています。よって定期的に受講するようにし、保護者との連携や現場での準備に役立てていかなければいけないと思っています。今回もやはり新しい情報をたくさん知ることが出来て、現場でもアレルギー疾患対応表を活用していこうと思いました。

重症ではないアレルギーの子どもも、花粉症やハウスダスト等を含めるとクラブにも相当数います。いつどのような形でどう発症するか分からないため、換気をしたり清潔にしてアレルギーを取り除く工夫、環境を整える配慮や注意が 普段から必要であるということです。長年かけて アレルギーに対して理解が深まってきたことにより、学べるサイトやアレルギー支援ネットワークなどが数多くあることが分かりました。岡崎アレルギーの会もありました。アレルギーポータルサイトを開いてみたところ、災害時の対応まで載っていました。災害時に備えて、まずは全員が食べても大丈夫なものを備蓄しておく必要があると思いました。

学童保育所では特にアレルギーが重症の場合は、“アレルギーは命にかかわること”という意識をしっかりと持って、基本の対応は学校の対応に準じていくことが大切であると思いました。給食の食べ方などの学校の対応を知ることで、アレルギーのレベルやその子どもに合った対応の仕方を考えることが出来ると思います。子どもの気持ちを考える点でも、全員が食べられるものを提供したり、安心できる配慮が必要であると感じました。

アレルギーの表示について、新表示と旧表示や任意表示品目があったり、2 回目の表示をしなくても良い規定があったり…と、自分のクラブの子を想定してよく見て読み取りをしてみましたが、慣れていないと読み取りは非常に難しいです。事故があってはいけないため、自分のクラブでは 必ず事前に材料を保護者に相談・確認してもらっています。今までの経験から言うと、“複数の指導員で確認・毎回保護者に確認”は重要なことだと感じています。アレルギーはずっと同じではないからです。成長と共に変わっていくことが考えられます。今回の研修でもありましたが、エピペンも保護者の方に練習用をお借りして、教えていただき練習してみました。薬を飲むタイミングなど、緊急時の対応についても教えていただきました。これからは新規採用の指導員も共有できるようにしていきたいと思っています。